

西南学院大学女子卒業生は、本年度で約35,000人 世界で輝くOGの「今」をご紹介します



研究室の犬塚亜子さん

「語学の西南」と言われてきただけに、卒業生の中には世界各地で活躍している人も多くいます。グローバル時代の最前線に立つその生き方を知りたいと、米国・ペンシルベニア州のピッツバーグ大学ジョンスタウン校准教授の犬塚亜子さん（94期、外英）を訪ねました。

米国の大学で教える 犬塚亜子さんを訪ねて

西南ゆりの会会長 藤井千佐子（外仏73期）



題字・中牟田栄蔵氏、絵・田代貞枝氏

21
号

西南学院大学女子同窓会
（西南ゆりの会）機関誌
2014年4月1日発行
発行人 藤井千佐子
福岡市早良区西新6-2-92
西南学院大学同窓会内
TEL 092-831-7048

私が訪ねたのは今年2月上旬の厳しい寒さが続いていた時で、ワシントンDCから飛行機で約1時間にあるジョンズタウン校のキャンパスは、あたり一面の雪景色でした。同校は人文、社会科学などの5学部で学生数は約3000人。人文学部で異文化コミュニケーションなどを担当している犬塚さんの講義を傍聴しました。留学生を対象にしたスピーチ演習では、発表する人の英語力に合わせて、犬塚さんが「なぜ」「どうして」などの質問で学生を刺激。ジェンダーとコミュニケーションの講座では、実際の広告を題材にし

「白ゆり」のバックナンバーをご覧ください

西南学院大学同窓会ホームページ
(<http://www.swu-dousoukai.jp/>)
に、1992年に創刊された機関誌「白ゆり」のバックナンバーが掲載されています。下記のアドレスからは直接「白ゆり」バックナンバーを見ることができます。
なつかしいあの頃の「西南ゆりの会」の活動を是非ご覧ください。（2013年20号まで）
http://www.swu-dousoukai.jp/obog/yuri_bn.html

た学生のプレゼンテーションをもとに、考えや疑問を引き出すなど、刺激的な内容でした。

「コミュニケーション学との出会い」

犬塚さんが米国の大学で教鞭を取るようになったきっかけは、大学時代に宮原哲文学部教授のコミュニケーションの講義を受講したこと。その研究が盛んな米国で学びたいと大学卒業後に渡米。サンノゼ州立大（カリフォルニア州）大学院でスピーチコミュニケーションの修士号取得。さらにボーリング・グリーン州立大（オハイオ州）でコミュニケーション学の博士号を取得し、2004年から現在の大学で教えています。4年前に助教から准教授に昇任してデニシア（終身雇用）を得たときは「留学生としてこの国に来て、ここまでたどり着いた」と感慨深かったそうです。



二人の息子さんと自宅前で

女子同窓生の活躍知りたい

プライベートでは、留学生同士として知り合ったオーストラリア出身で生命工学の研究者の夫と、2人の息子（4歳、1歳）の4人暮らし。長男は、父親とはドイツ語、母親とは日本語、保育園では英語で話すという見事なトリリンガルでした。犬塚さんは「息子が混乱するかなと心配しましたが問題はないうです。ただ、これからは英語が増えていくでしょうね」と話していました。留学によって米国の大学で教えるという大きなチャンスを得た犬塚さんだが、「西南時代は特に成績が良かったわけではない」という。それでも「コミュニケーション学を極めたいという目標を持ち続けたことで道が開けたんです」と話していました。渡米して20年近くになる犬塚さん。年1回は福岡に帰省し、大学時代に出会った生涯の友と交流を深めているそうです。「女子同窓生たちの活躍を知りたいですね」と話していました。

● サンディエゴで海外留学・就職に挑戦する人を応援

大学時代は図書館のアジア文化関連の本を読み漁ったり、海外旅行に出かけたり、語学を勉強したり、留学生との交流を楽しんだりして過ごしました。大学卒業前に韓国自治体観光局の日本事務所の立ち上げに携わり、卒業後は事務所の代表として観光プロモーションを手がけました。韓流ブームを利用した観光マーケティング活動で日本全国や韓国を訪れ、いろんな方と出会い、仕事をする刺激の日々でした。ゆりの会のイベントに参加していたのもこの頃です。

福岡での楽しい毎日の一方、大学時代に交換留学で過ごしたサンディエゴにもう一度住みたいという思いがつのり、29歳で再度渡米。カリフォルニア大学サンディエゴ校の社会人プログラムでビジネスマネジメントを学びました。現在は住友系の電子商社・メーカーにてサプライチェーンマネジメント職として働く傍ら、海外で頑張りたい人を応援する「サンディエゴ留学 One (<http://www.ryugakuone.jp>)」を設立、海外留学・就職に挑戦する人を応援しています。英語のほかに韓国語・スペイン語・中国語を話す機会にも恵まれているのが、移民の多い米国暮らしの醍醐味です。



なかむら まゆ こ
中村 繭子さん
(03期 外英)
米国
ロサンゼルス市在住

写真右から2人目

● アムステルダムで音楽生活

7歳の時から音楽コンクールで入賞するなどバイオリン一筋だった私が選んだのは、音楽大学ではなく西南学院大学でした。西南に入ったことで音楽以外の知識や友人も増えて世界が広がり、音楽がますます好きになりました。在学中から精力的に音楽活動を続け、ウーン、東京、福岡などでソロリサイタルを開催。卒業後、西南では学べなかった音楽の単位を取るべく桐朋音大の大学院に入学。2年で卒業し、昨年私が尊敬するヨハネス先生が教えるオランダ・アムステルダムコンセルバトワール大学院に進むことができました。

入学と同時に、幸運にもコンセルバトワールオーケストラ第二バイオリン首席奏者に抜擢され、世界中から集まった精鋭たちと音楽を深めています。ここでは、演奏だけではなく、アレキサンダーテクニックをはじめとする演奏医学講座、カデンツァを作曲する講義、リズムに関する講義、音楽療法心理学講義、音楽マネジメントなど、自由に研究でき、自分のコンサートやコンクール出場も単位になります。このように個人の活動も推奨されているということで、非常に喜ばしいことです。(2009年と2013年、西南OB橘フィルハーモニーと共演)



ふじわら のぞみ
藤原 望さん(11期 国際)
オランダ在住

● 刺激的な街サンフランシスコ

サンフランシスコでアーティストをしています。特に絵の学校に行ったわけでもなく、ただただ絵が好きで本能に従って生きていたら、こんなとこまで来て絵を描いていました。

夢を追いかける人たちが世界中から集まってくるこのサンフランシスコの生活は、毎日刺激に満ちています。暮らし始めたばかりに感じていた、言葉やアメリカ人との違いのコンプレックスも、今では自分の絵を追求して行く上での大きな強みとなっています。日本を離れて初めて日本の美しさを知りました。これからは、自分の中にある日本とサンフランシスコを混ぜ合わせながら絵を描いて行きたいと思っています。



「Self portrait」- 油彩(18"x24")

シングルマザーでアーティストというわたしの生活のこぼれ話、エッセイをウェブサイト(<http://www.hirokosakaifneart.com>)に載せています。最近、西南学院大学関係者によるFacebook グループに参加して、福岡を近くに感じます。大学のますますの発展を願っております。

さかいひろこさん(88期 文仏)
米国・サンフランシスコ市在住



「Still painting……」- 油彩(24"x30")

OGのひろば

世界各地で活躍中のOGに大学時代の思い出や現在の仕事、活動などがいました



じんない し の え
陣内 志野枝さん
(04期 文英)
米国
ロサンゼルス市在住

● 星のように輝き続けたい

「Shinee」としてシンガー・コンポーザーをしています。主に福岡の「赤坂ルアンジェ教会」でのソリスト兼講師、また東京、九州中心に各種パーティやイベント、式典に出演、アルバムもバンドやソロなど複数の形態で数枚リリース、並行して音楽学校や高校などでのボーカル講師を務めていました。

昨年喉のポリープを患った事をきっかけに、決意を新たに心身共に鍛え直すべく、またこの道を選んだ目的遂行の為に米国で活動したいと思い、2014年1月に渡米、LAに移住したばかりです。現在はサンタモニカの3rd ストリートプロムナードでパフォーマンスをしたり、各所で行われている演奏シーンに飛び込みで歌ったりしています。シンガーとして「米国という地で、行けるところまで行きたい」と思っています。

目的遂行の為に夢があって、その夢を追いかける過程にたくさんの経験と人との出会いがあり、色んな自分を発見しつつ受け止めて磨いて、結果どこを切り取っても、生き方そのものが輝いていれるようにしたいと思っています。皆様のこれからが、輝かしい未来でありますよう、LAからエールを送り続けたいと思います。



コンサートの様子

● 人と人が繋がって、過去と未来が輪になって繋がる

私にとって初めての米国は、短期留学先のカリフォルニア州サンディエゴでした。イリノイ州の大学院を経て、現在はサウスキャロライナ州グリーンビルに住んでいます。グリーンビルはジョージア州アトランタの北東、車で2時間ほどの距離。文字通り緑の公園のような小都市で、春には花ミズキ、レンギョウ、ライラック、梨、藤、ツツジなどの花の宴となり、大学のキャンパスでは桜の花見もできます。また、近くに州立公園や山が多いのでマウンテンバイクやハイキング、カヤックや乗馬が手軽に楽しめます。

私にとって大事なコミュニティが米国に三つあります。一つは西南学院大学在学中に短期留学をしたカリフォルニア州サンディエゴ、二つ目は大学院生として過ごしたイリノイ州アーバナ・シャンペーン。そして、三つ目がサウスカロライナ州グリーンビルです。ここに1997年から教鞭を執っているファーマン大学があります。

私がグリーンビルにあるファーマン大学で教鞭を執って17年になります。日本語を学ぶ学生たちは日本へ留学したり日本関係の研究へ進むことを目標に、毎日課される宿題や度々の試験や発表にも音をあげず、日本オタクぶりを発揮しています。2012年にファーマン大学と交換留学制度が結ばれ、第二の故郷グリーンヒルと母校が橋で繋がりました。これでファーマン大学の日本語の学生が黒田官兵衛の歴史探検をしたり、懐かしの蜂楽饅頭やコバルトアイスを口にすることもできるようになりました。そして、いよいよ今年の秋には母校の後輩たちをグリーンビルのキャンパスで迎えます。サザンホスピタリティは彼らの目にどう映るでしょうか。両校の交流の芽を育て、人の輪を広めることに尽力したいと思います。



とくなが
徳永 いづみさん
(81期 国際)
米国・サウスカロライナ州
在住

● グアテマラで国際協力

国際関係法学科に入学したことがきっかけで国際協力への道を進み始めました。青年海外協力隊、国際協力機構(JICA)のコンサルタントを経て、現在は国連児童基金(UNICEF)グアテマラ事務所で国連ボランティアとして働いています。グアテマラは中米に位置し、日本ではコーヒーやマヤ文明などで知られています。公用語はスペイン語ですが、マヤ民族が話す言葉が28言語存在し、多様な文化や慣習を持つ国でもあります。プロジェクトの計画立案やモニタリング、UNICEF事務所の広報キャンペーンの実施、会議イベントの実施、政策戦略の策定過程に参加するなど、市民団体や政府機関に対する技術支援が主な仕事です。UNICEFグアテマラが支援している青少年のソーシャルムーブメント団体との仕事は刺激も多く、非常にやりがいもあります。彼らとともに、少しでもグアテマラの発展に貢献できたらと頑張っています。



ふくだ ゆき
福田 由紀さん(03期 法国)
南米・グアテマラ在住

写真右から3人目

● 夢を持ち続けること

「海外の大学院で勉強したい、海外で働いてみたい」というのが私の大学時代の夢でしたが、卒業後は9年間、民間保険会社に勤務しました。夢が現実として動き出したのは32歳で高校英語教員へ転職してから。英語教員としてもっと力をつけたいと英国のレディング大学院で応用言語学を学ぶため40歳で渡英したのです。

現在、エクセター大学で学部生に日本語を教えながら、ベッドフォードシャー大学の博士課程(PhD)で言語テストングをテーマに研究をしています。

「異文化」と「英語」の壁を越えるのは容易ではありませんでしたが、その壁を越えると自分らしく生活できる英国社会に感謝の気持ちが出てきました。ここにたどり着くまでにずいぶんと遠回りをしましたが、その過程で学んだことが知恵として今の生活に生きています。

目標に向かって進んでいたら、必ず良い出会いがあり、奇跡が起こることを実感しています。英国の多くの人たちに日本語を通して、日本を知ってもらえるよう頑張っていると思っています。



エクセター大学キャンパス

● 海外で言語教師になる夢を実現

大学卒業後にカナダのトロント大学で日本語言語学修士を取得し、現在はオンタリオ州にあるクイーンズ大学で日本語を教えています。フランス語が大好きだった私が、英語圏で日本語を教えることになったわけですが、仏専で2年次から任せていただいたティーチングアシスタントとしての経験が、今に大きく影響を与えています。どうやってフランス語をより効率的に上手になってもらうかを考えたり、学生のモチベーションを高めるためにフランス人留学生をクラスに呼んだり、その中で言語を教えることの楽しさを学び、海外で言語教師になろうと思いました。

人との交流が言語を学ぶ動機向上につながることを実感したことから、今のカナダ人学生には、日本で英語を学ぶ学生とスカイプを使ってランゲージエクスチェンジをさせています。また、それをテーマに研究も始めました。言語教育に携わる方、私のかかわっておりますエクスチェンジ用のサイトLinguae Live(<http://www.linguaealive.ca/>)を覗いてみてください。



たかさき まゆ
高崎 麻由さん
(04期 外仏)
カナダ在住

懐かしのフォークソングで一気にタイムトリップ！

新春のつどいを 賑やかに開催

2014年の新春を飾るイベントとして、1月25日(土)に「新春のつどい」を開催しました。会場となった西南クロスプラザ2階のレセプションホールには、来賓はじめ100人を超える同窓生が集いました。

はじめに福岡県副知事・山崎建典氏(73期)が「県民幸福度日本一の福岡県を目指して」というテーマで話されました。少子高齢社会の中で、県民幸福度を高めるためには、女性の社会における能力の発揮が不可欠です。子育て応援宣言事業など、働きやすい環境づくりのための様々な取り組みが紹介され、女性の活躍にエールが送られました。

来賓を代表して、西南学院大学同窓会会長・末吉紀雄氏(67期)(福岡商



山崎建典福岡県副知事による新春講話

新春のつどい 2014



テレベルトグリーンによる演奏

工会議所会頭)が挨拶。G・W・バークレー学院長・学長の乾杯の合図とともに、にぎやかな歓談となりました。

さらに会場を盛り上げてくれたのが、西南学院大学卒業生で結成したフォークコーラスバンド・テレベルトグリーンによる演奏です。「なごり雪」や「いい日旅立ち」などの懐かしいフォークソングの数々に、テーブルによつては一緒に口ずさむ姿もたくさん見られました。アンコールには、同じく西南学院大学OBの財津和夫さんが活躍するバンド「チューリップ」の名曲「サボテンの花」が演奏され、会場が一体となって盛り上がりました。最後に讃美歌312番「いつくしみ深き」を合唱し、なごやかな雰囲気の中、会を締めくくりました。

2013年10月23日(水)15時20分〜17時、大学内東キャンパス、西南クロスプラザ2階レセプションホールで、在学生を対象とした、第2回キャリア講座「なりたいたい女性、やりたい仕事」をキャリアセンター就職課と西南ゆりの会との共催で開催しました。

在学生のための〈就職支援イベント〉 開催報告

く相談会&茶話会では、飯野さんに加え、(株)九電ビジネスフロント代表取締役・寺崎正勝さん(82期・商)、(株)新出光人事総務部人事課・江口真代さん(01期・文)、そして本学文学部教授で西南ゆりの会相談役でもある武末祐子文学部教授(77期・文)の計4人の先輩方を囲んで、在学生との活発な意見交換がなされました。

今後このようなイベントを継続的に開催して参ります。多くの方のご参加をお待ちしております。

大先輩をお迎えしてなごやかに

〜第37回西南ゆりの会サロン〜

2013年5月25日(土)西南クロスプラザ2Fレセプションホールで「西南学院の草創期に思いを巡らせて」と題してゆりの会サロンを持ちました。

第1部の「草創期の先輩に聞く」あのころの西南〜では、西南学院大学前身旧制専門学校英文科に1948年入学



富重 順子 氏



寺嶋 佳都子 氏

された富重順子氏(51期、旧制専門学校・英文科卒)、寺嶋佳都子氏(同)をお迎えし、学生時代の思い出を語っていただき



後藤新治教授

ました。第2部「ドージャー記念館(大学博物館)と建築家ヴォーリス」では、後藤新治国際文化学部教授から、2006年5月に大学博物館として生まれ変わったドージャー記念館(旧西南学院高等学校講堂。1921年/ジョージアン・コロニアルスタイル)の復元作業について、建築学的観点からお話をいただきました。大学博物館では、キリスト教関連資料の展示や創立者C・K・ドージャーゆかりの品々が展示されています。

第二部 西南プリエールによる合唱

野田順康氏略歴

西南学院大学法学部教授
(元ハビタット福岡 所長)
1953年生まれ。京都府出身。北海道大、九州大の両大学院修了。79年に国土庁(現国土交通省)入庁。在職中に14年間、国連で勤務しており、国連人間居住計画(ハビタット)のアジア太平洋地域本部長も務めた。



第一部 演題グローバル社会での
女性の生き方、働き方
講師 野田 順康氏

今回のゆりの会サロンの、野田順康法学部教授に、「グローバル社会での女性の生き方、働き方」と題してお話をうかがいます。
また第二部では、OGによる合唱団西南プリエールの皆さんの美しい歌声をお届け致します。どうぞお楽しみに。

日時…2014年10月25日(土)
午後1時30分〜3時30分
会場…西南クロスプラザ
会費…2000円(軽食付き)

西南ゆりの会サロンの
ご案内

6月13日
西南ゆりの会総会

西南ゆりの会は2014年6月13日(金)17時30分から、ホテル日航福岡(福岡市博多区博多駅前2-18-25)で総会を開催します。

総会終了後の18時30分からは、同ホテルで大学同窓会定期総会・懇親会もあります。多くの卒業生がつどう会になりますよう、お誘い合わせのうえでご参加ください。

多くのゆりの会会員のご参加を
お待ちしております



5月28日
キャリア支援イベント



西南ゆりの会は、西南学院大学キャリアセンターとの共催行事として、2014年5月28日(水)15時20分〜17時、西南クロスプラザレセプションホールにて、全学年を対象とした卒業生による就職講座を行います。

♪みんなでゴスペルを歌おう♪

西南学院ゴスペルクワイア
2014メンバー募集

西南学院は2016年に創立100周年を迎えますが、その100周年を機に、卒業生を中心とした西南学院ゴスペルクワイアが結成されます。ゴスペルを通して、卒業生たちが集い合う交流の場ができればいいですね。

講師はゴスペルシンガーとして活躍中の沢れい子さん(本学卒業生 外英72期)。曲の背景や歌詞の解説を西南学院のリディア・ハンキンス宗教主事が担当します。

技術面の向上だけではなく、曲の背景も深く理解して、ゴスペルを歌います。

4月の練習開始に先立ち、2月22日(土)、西南学院大学博物館2階講堂にて説明会と沢れい子さんとその生徒さんによるゴスペルデモ演奏が行われました。ゴスペルは、楽譜が読めなくても楽しく歌うことができます。興味のある方は、ぜひお気軽にご参加ください。



応募条件…西南学院OB・OGであればどなたでも可
練習日程…月2回・第2、第4木曜日の19時〜20時30分
練習場所…西南学院大学 5号館106教室(音楽リズム室)
練習開始日…2014年4月10日(木)(第2木曜日よりスタート)
会費…3000円/月

◎申込・問い合わせ先
(株)キャンパスサポート西南
TEL:092-823-3576

第9回
ホームカミングデー

「母校に帰ってきていただきたい」という願いを込めて、今年もホームカミングデーが開催されます。該当のご卒業生の方は、お声かけあつて奮ってご参加ください。詳細は、大学や同窓会のホームページなどで案内されます。

日時…2014年9月27日(土)
会場…大学チャペル(ランキンチャペル跡地)

○案内対象…卒業後10年、20年、30年、40年、50年及び60年目の皆様*卒期末尾数字が4の方々が、今回の原則対象となります。

○参加費…無料です。

◎問い合わせ先

西南学院大学 広報課

TEL:092-823-3248

E-mail: koho@seinan-gu.ac.jp



講師: 沢れい子さん

(旧姓 伊豆丸礼子さん)
ヤマハライトミュージックコンテストなど数々のコンテストに入賞し、姉妹デュオ「ウイッシュ」を結成しオリジナルソング「御案内」などのヒット曲でメジャーデビュー。現在、名古屋・東京でゴスペル教室の指導者として活動。

関西支部の佐伯道（63期・元副支部長）と申します。関西支部所属のOGの活動は多岐にわたっています。「コーラス」では女性10名、男性4名で隔月ごとの合唱練習で、テクニクや発声法を身につけ、支部総会や新年会で披露しています。「良か女の会」では桜の季節に関西の名穴場に出かけ歴史や地元料理を堪能し、毎年賢くなっています。福岡からのご参加も大歓迎。「書道同好会」では毎月、西南学院大学の大先輩、青柳疎石先生の手ほどきを受け、それぞれ個性あふれる字で総会に展示しています。「ハイキング」では関西近辺や大台ヶ原などの山々に登り女性の足腰は年々強くなっています。さらに「歴史ウォーク」では半分

「関東しのめ会」は西南保母学院福岡保育専攻学校と児童教育科の卒業生による会で、1968年発行の名簿もあり、その頃には活動が始まっていたようです。一時は会員数270名を数え、今も約200人が在籍しています。年1回会報を発行し、同窓会を開いています。

2013年10月の同窓会は東京・御茶ノ水で開き、恩師内海洋一先生と児教科1回生（1952年卒）から18回生までの18人が集いました。今回は2013年に亡くなられた恩師中川ノブ、堀江喜興、古澤幸枝先生を偲び写真やお花を飾り思い出が次々に語られました。内海先生は92歳とは思えない元気な声で「千の風になつて」を歌ってくださいました。

「関東しのめ会」宮本 彌生さん（短大14回）

毎回、校歌ともいえる賛美歌537番「わが主のみに」を歌い、食前のお祈り、ランチを頂きながらお互いの近況報告、ミニコンサートやクリスマスリース作りなどを楽しまします。これからも楽しい企画を考え、会員の交流の場としていきたいと思っています。



関西支部 佐伯 道さん（63期・文英）

奮闘、おもてなしを尽くします。欧州旅行も数年前には実施、特にオーストリアでは現地の人に書道を教えるなど文化交流しました。

関西支部のHP (<http://seian-kansai.com/index.html>) で詳細をご覧ください。是非一読ください。



以上が女性参加、井上修一支部長の歴史説明で歴史にめつぼう強くなりました。また「青空交流会」では堺の松原公園でバーベキュー、女性料理に大

私たち、頑張ってます



NPO 法人 ライフサポートアムリール

宗田 昌子さん（98期・経国）

私は会社員の傍ら、ライフワークとしてNPO法人「ライフサポートアムリール」（福岡市博多区）で、小児がん患者や難病の子どもたちを支援する活動を続けています。活動の中心は、スマイルキッズファッションショー。闘病中の子どもたちが好きな衣装を身にまとい、ハレの日の高揚感のなか、療養中に埋もれがちな自己表現・自己発見を体験する場です。6回目の昨年は11月に九大病院小児医療センターで開催。ショーに出演した子どもたちは、闘病中とは思えない元気な姿を披露しました。

16歳のときに友人が相次いで亡くなったことで、「生」に対し空虚感を覚えた私は、知人の勧めでホスピスや育児院で貴重な体験をしました。西南学院大学を選んだのも、創立者の精神、隣人愛に基づいた人格育成の理念に感動したからです。私たちの活動のモットーである「オシャレな福祉」「明るい福祉」「笑顔で福祉」を広げていきたいと思っています。

アミカス日本語クラスは、福岡市南区の西鉄高宮駅前、男女共同参画推進センターアミカスで、在住外国人に日本語を教える全国でも珍しい託児付きの教室です。この教室は1997年、アジアから来日し、日本人と結婚した女性を支援する目的で設立されました。近年は国籍も多様化、日本人女性と結婚した男性も増え、これまでに受講者は52カ国、延べ1000人にのぼります。

私は10年前日本語教師の資格をとり、アミカスでの活動は9年目になります。昨年、福岡県より困難な状況にある女性の自立支援部門で男女共同参画表彰を受けまし

アミカス日本語クラス 中野 和子さん（70期・外英）

た。外国人女性のエンパワーメントと国際交流に大きく貢献していると評価いただき、タッフ一同喜んでいました。

将来の就職を視野に入れて、初級から日本語能力試験合格まで、ボランティア教室ならではの和気あいあいとした授業を心がけています。

恒例のイベントには、受講生が大きな声で歌をうたっていました。受講生が大きな声で歌をうたっていました。受講生が大きな声で歌をうたっていました。



2012年度 西南ゆりの会事業報告 (2012年4月1日～2013年3月31日)

1 西南ゆりの会総会

日 時 2012年6月8日(金)
会 場 ホテル日航福岡

2 第36回西南ゆりの会サロン

日 時 2012年10月10日(水)
会 場 西南クロスプラザ2階
講 師 G・W・パークレー西南学院院长・学長
テーマ 「西南学院創立100周年を迎えるにあたって 西南ゆりの会に望むこと」

3 第6回女子大学生就職支援講座 (キャリア支援講座)

日 時 2012年10月31日(水)
会 場 西南学院大学2号館8階大会議室
テーマ 「先輩とつながろう、私らしいワーク・ライフ・バランスを探して」

4 2013新春のつどい

日 時 2013年1月26日(土)
会 場 西南クロスプラザ2階
講 話 福岡商工会議所会頭・末吉紀雄さん、
桑野綾子さん
演 奏 榎下祝子さん、瀬川啓子教授

5 機関誌「白ゆり」第19号発行

6 大学構内聖書植物園ボランティアに参加 (毎月第3土曜日)

7 サラマッポ会への援助 (フィリピンの女子大学生1人に奨学金供与)

2012年度 西南ゆりの会決算報告 (2012年4月1日～2013年3月31日)

《収入の部》

(単位:円)

項 目	予算額	決算額	差引増減	備 考
繰越金	317,167	317,167	0	前年度繰越し
同窓会補助金	500,000	500,000	0	大学同窓会よりの活動補助金
講演会費	250,000	378,000	128,000	新春のつどい会費及び御祝金
西南ゆりの会 サロン費	30,000	74,000	44,000	西南ゆりの会サロン会費 および御祝金
雑収入	0	27	27	普通預金利息
収入の部合計	1,097,167	1,269,194	172,027	

《支出の部》

(単位:円)

項 目	予算額	決算額	差引増減	備 考
講演会等費	400,000	487,976	87,976	キャリア支援講座開催費用、 新春のつどい懇親会開催費 用等
西南ゆりの会 サロン費	50,000	70,000	20,000	西南ゆりの会サロン開催費用
慶弔渉外費	60,000	33,290	△26,710	他大学イベントへの出席費、 御祝金等
通 信 費	30,000	11,470	△18,530	来賓、職域等への案内状送 付費用等
印 刷 費	300,000	335,567	35,567	機関誌「白ゆり」19号作成 費、「白ゆり」バックナンバー PDF 作業費
会 議 費	200,000	120,100	△79,900	役員会費用
寄 付 金	50,000	50,000	0	サラマッポ会への奨学金
雑 費	7,167	20,710	13,543	ゆり花壇の球根代、事務用 品等
繰越金	0	140,081	140,081	2013年度会計へ繰越し
支出の部合計	1,097,167	1,269,194	172,027	

「サラマッポ会の支援がなかったら私は一生、道端で野菜を売っているでしょう」。会計士として活躍しているというひとりの卒業生の言葉は、人生を大きく変えた同会への感謝に満ちていました。現地では、社会で活躍するサラマッポ会の元奨学生たちが、困っている学生たちに奨学金を送る活動も始まっているそうです。

一粒一粒は小さな支援でも、これほど大きな広がりを持つことの素晴らしさに感動しました。そして、ゆりの会がその活動に長年かかわってきたことに喜びを覚えた旅となりました。

「サラマッポ会の支援がなかったら私は一生、道端で野菜を売っているでしょう」。会計士として活躍しているというひとりの卒業生の言葉は、人生を大きく変えた同会への感謝に満ちていました。現地では、社会で活躍するサラマッポ会の元奨学生たちが、困っている学生たちに奨学金を送る活動も始まっているそうです。

一粒一粒は小さな支援でも、これほど大きな広がりを持つことの素晴らしさに感動しました。そして、ゆりの会がその活動に長年かかわってきたことに喜びを覚えた旅となりました。



ジョディ・アンさん(右)

西南ゆりの会は1993年から、フィリピンの貧しい大学生に奨学金(2人年額5万円、医学部生は同18万円)を送る「サラマッポ会」の活動に参加しています。ゆりの会の支援で大学を卒業した人は5人で、それぞれの分野で活躍しているそうです。30年以上にわたる同会の活動が2015年春で終わりを迎えることから、13年4月、同会主催のフィリピンツアーに参加し、サラマッポ会の奨学生たちに出会ってきました。

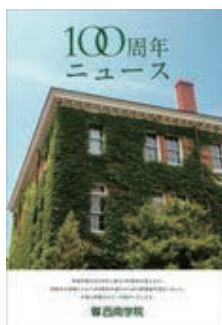
西南ゆりの会 藤井千佐子

フィリピンに広がる支援の輪
「サラマッポ会ツアーに参加して」

西南学院からのお願い

西南学院創立100周年記念 募金事業のご案内

西南学院は、2016（平成28）年の創立100周年に向けてさまざまな記念事業を計画・実施しております。今後も同窓会の皆様とも協議をしながら、西南学院の次の100年に向けて各種事業に取り組みまいります。その記念事業の一環として、西南学院では創立100周年記念募金事業を2013（平成25）年7月から展開しています。2013（平成25）年12月末には同窓生の皆様に、「100周年ニュース」ならびに「募金趣意書」をお届けしております。



次の100年に向けてさらに飛躍する西南学院のために、今後とも皆様のご理解とご支援をお願いいたします。

ご寄付者への感謝・顕彰

- 1 礼状および記念品贈呈
 - 2 100周年ニュース、募金用ホームページなどの報告
 - 3 芳名録作成
 - 4 寄付者銘板設置…100周年記念館（仮称）内部の銘板にご芳名を刻銘し、末永く顕彰させていただきます。
 - 5 高額寄付者への名誉称号贈呈
- 詳しくは創立100周年記念募金事業ホームページをご覧ください。
<http://www.seinan-gakuin.jp/bokin/>
 このサイトでは、クレジットカードやコンビニエンスストア決済、口座振替での募金の申し込みができます。



● ● あなたも西南ゆりの会の活動に参加しませんか？ ● ●

「西南ゆりの会」の正式名称は「西南学院大学女子同窓会」で1986年に発足しました。女子卒業生は全員「西南ゆりの会」の会員です。「西南ゆりの会」では会費を徴収せず、大学同窓会からの補助金で運営しています。講演会やコンサート、在学生を支援するイベントなどのほ

か、機関誌「白ゆり」を毎年発行しています。興味のある方は是非同窓会事務局までご連絡ください。

西南学院大学同窓会事務局

〒814-8511 福岡市早良区西新6-2-92

西南コミュニティーセンター1階

TEL：092-831-7048 / FAX：092-831-7064

西南ゆりの会の皆様を手厚くサポート



Campus Support
SEINAN

（株）キャンパスサポート西南は、学校法人西南学院全額出資の収益事業法人です。学院の創立100周年に向けて、学院と地域社会のよりよい環境づくりを目指します。

西南学院オリジナルグッズ販売

（ボールペン、ポーチ、扇子、西南チロリアン、セナフィー等）

印刷全般

（ポスター、チラシ、名刺、年賀状等）

翻訳・通訳（日↔英）

（翻訳全般、電話通訳、コミュニケーション講座等）

イベント・コンサートの運営・支援

（西南コンサート、TOEIC公開テスト運営支援等）

卒業生の就職支援・アルバイト紹介

（大学内パソコン貸出アルバイト等）

一般労働者派遣

（学校事務、一般事務等）

同窓生限定プライダル 等

（博物館講堂【旧中高チャペル】にての結婚式）

西南学院オリジナルグッズ
人気ランキング

TOP 3

第1位

西南チロリアン

老舗菓子メーカー・千鳥屋と
タイアップ

第2位

セナフィー

ストロベリーフィールズと
共同開発した
オリジナル焼き菓子

第3位

**西南学院
特選煎茶**

九州産の茶（八女茶、
知覧茶、嬉野茶）を
「お茶の小野園」が
ブレンド

※販売はキャンパスサポート西南で行っております。



学校法人 西南学院グループ

株式会社 キャンパスサポート西南

福岡市早良区西新3丁目12-14 TEL.092-823-3576 FAX.092-823-3590
 URL <http://www.cs-seinan.co.jp>

